

2 学校経営グランドデザイン（学校経営の全体構想）

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 宮城県教育振興基本方針 宮城県学校教育の方針 北部管内生涯学習基本方針 大崎市教育基本方針	教 育 方 針				保護者の願い ○思いやりがあり、友達と仲良く生活できる子供になってほしい。 ○善悪の判断ができる子供になってほしい。
	日本国憲法、教育基本法並びに学校教育法を踏まえ、宮城県教育委員会及び大崎市教育委員会の基本方針・重点施策に則り、地域及び児童の実態を的確に把握し、豊かな知性と感性を備え、心身共に健全で実践力のある児童の育成を目指す。				
	学 校 教 育 目 標				
	ふるさとを愛し 夢に向かって 共に たくましく生きぬく児童の育成				
	目指す児童像と具体の姿				
	やさしく（徳） 思いやりの心を持ち、認め合い・支え合い、共に伸びる子供	かしこく（知） よく見て、聴いて、考えて、進んで学ぶ子供	たくましく（体） 健康で、根気強くあきらめない子供		
	低	○ 友達と仲良くする子供	○ よく聴いてはつきり話す子供	○ 元気に遊び、あきらめない子供	
	中	○ 友達の良いところを認め、協力する子供	○ 比べながら聴き、理由を付けて話す子供	○ 健康と安全に気を付け、めあてを持って取り組む子供	
	高	○ 相手の気持ちを思いやり、進んでかわる子供	○ 他の意見の良さを取り入れ、根拠を示して伝える子供	○ 健康と安全に気を付け、目標に向かってやり抜く子供	
	目指す学校像具体の姿	学校経営の基本方針			
◇ 誇りに思える学校 地域・保護者・児童がつながり、一人一人の絆があり、活気に満ちた学校	○ ふるさとへの誇りを持ち、自分の夢や目標に向かって、主体的に粘り強く取り組む児童の育成に努める。				
	○ 児童一人一人の確かな学力の定着と居場所づくり・絆づくりに努め、笑顔あふれる、魅力ある学校づくりを推進する。				
	○ 「職務に厳しく、研修は鋭く、職場を楽しく」を基本姿勢として、敬愛、協働、信頼に満ちた経営に努める。				
	○ 保護者や地域住民等との連携・協働を充実させ、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域に信頼される学校づくりに努める。				
	令和2年度の学校経営の重点目標				
◇ 楽しい学校 一人一人が輝く、一人一人に活躍の場がある、一人一人が分かる・できる学校	1 家庭や地域との連携を密にし、ふるさとを誇りに思う児童の育成に努める。また、古川北部地区小・中学校との交流・連携を推進し、閉校及び統合に係る児童の不安解消に努めると共に、統合校への期待を高める。【ふるさと教育】【家庭・地域連携／学校間連携】				
	2 児童一人一人に居場所と活躍の場をつくり、目標に向かって主体的に自分の役割を果たそうとする児童を育成する。【安心・安全】【志教育】				
	3 基礎・基本の定着に努めると共に一人一人の良さを引き出す指導法を工夫することによって確かな学力を身に付けさせる。【学力向上】				
	4 相互信頼と協働の中で、教職員一人一人の力が十分に発揮され、働く喜びを実感できる職場づくりに努める。【働き方改革】				
	重点目標と具体の取組				
◇ 安全・安心な学校 一人一人を大切に する、一人一人の笑顔があふれる、教育環境が整った学校	1 家庭や地域との連携を密にし、ふるさとを誇りに思う児童の育成に努める。また、近隣小・中学校との交流・連携を推進し、閉校及び統合に係る児童の不安解消に努めると共に、統合校への期待を高める。【ふるさと教育】【家庭・地域連携／学校間連携】	2 児童一人一人に居場所と活躍の場をつくり、目標に向かって主体的に自分の役割を果たそうとする児童を育成する。【安心・安全】【志教育】	3 基礎・基本の定着に努めると共に一人一人の良さを引き出す指導法を工夫することによって確かな学力を身に付けさせる。【学力向上】	4 相互信頼と協働の中で、教職員一人一人の力が十分に発揮され、働く喜びを実感できる職場づくりに努める。【働き方改革】	
	(1)家庭と連携し、「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的生活習慣の確立と家庭学習の習慣化を図る。【家庭との連携】	(1)道徳や学級活動を中心に「命を大切にする教育」に取り組む。	(1)「学力向上全体計画」に基づき、確かな学力の定着に向けて全職員の共通理解を徹底し、共通の取組を行う。【学力向上】	(1)「校内働き方改革推進計画」を作成し、その徹底を図る。	
	(2)総合的な学習の時間等で、化女沼や宮沢地区の寺社など地域の資源を活用した学習を組織する。【ふるさと学習】	(2)学校安全全体計画及び危機対応マニュアルについて点検と見直しを行い、危機管理の実効性を高める。【安全・防災】	①「学力向上のための5つの提言」の徹底と児童が主体的に学びを深めることができる学習活動の実践	① 時間外勤務は原則2時間以内／1日	
	(3)地域の人々や施設等と連携し、地域資源を活用した体験活動を行う。【地域連携・協働教育】	(3)放送の聴き方訓練を含めた避難訓練等を年間15回実施する。	②学習目標の板書、適応問題の実施、授業と家庭学習の関連付け	② 勤務予定表の作成と勤務時間の自己管理の徹底	
	(4)外部人材を加えた「宮沢っ子育成懇談会」を開催し、いじめ・不登校等の未然防止対策等について協議する。【地域連携】	(4)「魅力ある学校づくり全体計画」に基づき、積極的な生徒指導に全校で取り組む。【生徒指導】	③宮沢小スタンダードの実践（「共通授業モデル」の実践）	③ 業務の徹底した見直し	